

プログラム名 (40字以内)	岡山林原美術館 学芸員体験と文化事業の価値を考える		
団体名/所属	財団法人林原美術館(岡山市)、岡山東大会(地域同窓会)		
活動区分	ボランティアなどの社会貢献活動、 就労体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	4人程度	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	美術品鑑賞や美学・美術史、文化事業の発展に関心のある学生。留学生も歓迎します。 海外からの来館者の視点など、多様な観点でプログラムに参加できる方を求めます。		
活動期間	2026/8/4(火)～8/7(金)	主な活動予定場所	岡山市北区丸の内2-7-15
プログラム実施の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・古美術中心の美術館発展のためには、若い世代に造詣を深めてもらう必要があることから、若年層の興味関心の在りかをモニタリングしたい。 ・本プログラムは、「学芸員」資格取得のために必要な博物館学の実習実施の証明書類を発行できる。 		
具体的な内容(800字程度)	<p>美術館の沿革や運営を学び、学芸員の研究や作業、入場者対応のお手伝いを体験する。市民にとっての文化事業の価値、施設運営の課題、今後の美術館のあり方、地域との関わりについて考察する。</p> <p>所蔵品には、旧岡山藩主池田家伝来の能装束や能面、洛中洛外図、平家物語絵巻などの国宝類、林原家収集の刀剣・甲冑など、美術史的価値の高い品がある。これらの価値を学ぶと同時に、一般市民に親しんでもらうための工夫についても学生とともに考えたい。</p> <p>また、特に留学生には、インバウンドの方々日本の古美術に注目するポイントなどについての意見も得たい。</p> <p>行程(3泊4日) 8月4日(火)14時: 林原美術館に集合 8月7日(金)正午: 林原美術館で解散</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員の業務について座学と見習い ・見学者対応について実習 ・展示品についての歴史や価値を研修 ・美術館と市民生活の関わり方の研究と討議 ・林原美術館の文化事業を研修する他、林原美術館、岡山県立美術館、岡山県立博物館、岡山市立オリエント美術館、天神山文化プラザ、夢二郷土美術館、岡山城、大名庭園後楽園における研修に伴い、入館料・入場料の無償提供あり 		
【総額】参加するための費用	宿泊費がかからない条件で約40,000円(往復新幹線乗車券・特急券、現地でのバス代など移動交通費、昼・夜食費)		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	現地の卒業生が自宅を3泊無料のホームステイとして提供(朝食付き)。 (1室2名の和室2部屋、計4名分) 原則として男性2名・女性2名の計4名まで(留学生も応募可)。 応募状況に応じて、部屋割り等は調整させていただく場合があります。		
【内訳】参加するための費用(交通費)	<ul style="list-style-type: none"> ・東京駅からJR新幹線(東海道・山陽新幹線)を利用し、料金は片道おおよそ 17,000円程度(往復で 34,000円程度が目安)。 ・岡山駅から林原美術館までは、路面電車またはバスで約10分、徒歩の場合は約25分 ・林原美術館～宿舎の路線バス代(片道160円程度) 		
【内訳】参加するための費用(その他)	食費(昼食・夕食) 約6,000円		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://havashibara-museumofart.jp/		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		